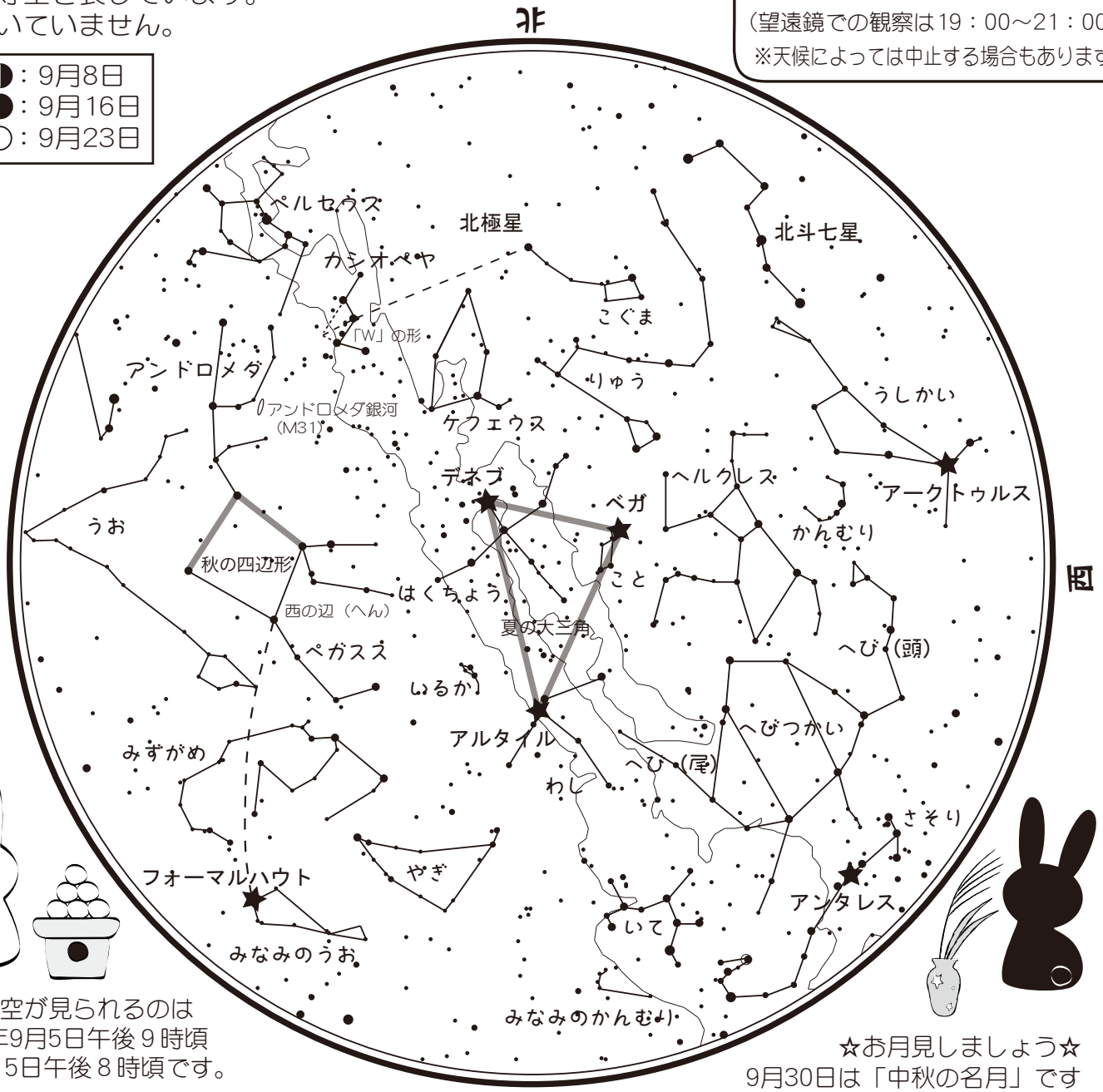
★ 姫路で見る9月前半の星空 ★

姫路科学館
Himeji City Science Museum

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図を見るときには見ている方向の方位を下にして下さい。
★は一等星を表しています。
月はかいていません。

下弦◑：9月8日
新月●：9月16日
上弦◐：9月23日

姫路城観月会
9月30日（日）　18：00～21：00
姫路科学館の望遠鏡で月を見よう！
（望遠鏡での観察は19：00～21：00）
※天候によっては中止する場合もあります



この星空が見られるのは
2012年9月5日午後９時頃
9月15日午後８時頃です。

2012 SUMMER

☆お月見しましょう☆
9月30日は「中秋の名月」です
ススキやお団子を飾って
月を眺めてみませんか？

今の時期、星空で一番目立つのは夏の大三角です。天頂付近に見える一等星3つ、こと座のベガ、わし座のアルタイル、はくちょう座のデネブを結ぶとできあがります。大三角から天の川を南西へたどると、さそり座が見えます。S字のカーブと赤い一等星アンタレスが目じるしです。そこから南の空にかけて、いて座、やぎ座と誕生日の星座が並びます。

東の空は秋の星座が見やすくなりました。「秋の四辺形」はペガスス座の胴体の部分で、四辺形の西の辺（へん）を地平線に向かってのばしていくと、秋の星空でたったひとつの一等星フォーマルハウトが見つかります。

北東の空は、古代ギリシャ神話に登場するエチオピア王家の人々の星座でとても華やかです。エチオピアの女王であるカシオペア座は「W」の形に星が並びます。そばには王様であるケフェウス座が見えます。二人の愛娘であるアンドロメダ座は秋の四辺形からたどってみましょう。

姫路科学館プラネタリウム長期休演のお知らせ
2012年11月13日～2013年3月15日の期間、設備更新のためプラネタリウムを休演します